

! 次のような雨の降り方の時は、土砂災害の危険性が高い

土砂災害の多くは、水（降雨、地下水）が関与しています。

次のような雨が降つたら、土砂災害が発生する危険性が高いので注意してください。

一時間に 20mm 以上の雨……車のワイパーを動かしても前が見えにくいほど強い雨

連続雨量で 100mm 以上の雨……雨が降り出してから、10cm のコップがあふれる

※こうした雨量は、**ワンカップ雨量計**（別添）で簡単に計測可能です。

! 次の情報が出た場合にも、すぐに避難を開始しましょう

土砂災害や洪水が発生する可能性が高くなると、防災気象情報の他に行政から次のような情報が発表されることがあります。これら的情報が発表された場合には、すぐに避難を開始してください。

土砂災害警戒情報……地域の雨量などを考慮して、土砂災害発生の危険性が高まった地域に対して、気象台と県から市町村単位で発表される情報

避難勧告・避難指示……災害によって被害を受ける可能性の高い地域の住民に対して、市町村から発表される情報

! 前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう

土砂災害が発生する前には、予兆現象が見られることがあります。大雨が降ったときには、周りの様子に注意して、次のような状況を発見したら、直ちに避難を開始してください。

がけ崩れの発生前には…



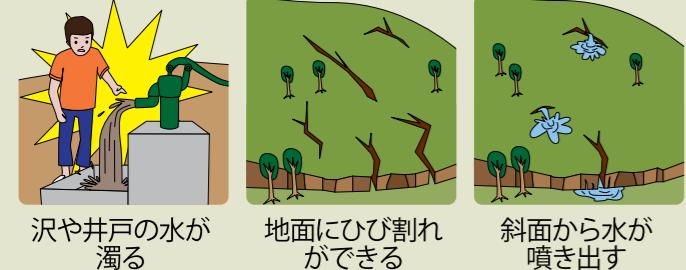
がけに割れ目が見える
がけから水が湧き出ている
がけから小石がばらばら落ちてくる

土石流の発生前には…



急に川の流れが濁り、流木が混ざっている
雨が降り続いているのに、川の水位が下がる
山鳴りがする

地すべりの発生前には…



沢や井戸の水が濁る
地面にひび割れができる
斜面から水が噴き出す

この他にも…

- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとるなど

! 災害情報サービスをご活用ください

釜石災害 110 番 ☎ 0800-8003199（通話料無料）※岩手県内の固定電話・携帯電話・PHS から利用可能です。

市内の雨量情報・防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。

地域住民、全員でやること

雨が降り始めたら…

- 裏面の防災マップを参考に、地域内の危険箇所の様子を確認しましょう。
- ワンカップを用いて、雨量を計測しましょう。（別添）
- 河川の水位を確認しましょう。



『いつもと違う何か』の発生を確認したら…

- 自主防災会の役員等に連絡しましょう。
- 身の安全を第一に考え、必要に応じて避難を開始しましょう。



中小川町内会 自主避難計画

自主避難を開始する基準を考えました。

以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

- 表通りよりも**川側**にお住まいの皆さん
旧グランド周辺の川の水位が、堤防から 1m のところまで上がった時
- 表通りよりも**崖側**にお住まいの皆さん
『いつもと違う何か』が地区内で 3 つ確認された時

『いつもと違う何か』とは、地図にある○の付いたオレンジ色のようなことや、紫色の場所で見られる前ぶれ（予兆現象）〔裏表紙に記載〕などです。特に紫色の近くでは、異変を感じたらすぐに避難しましょう。

豪雨災害時の緊急避難場所を考えました。

周辺の様子に注意して、身の安全を第一に考えた対応をとってください。

1. **小佐野小学校・小佐野コミュニティセンターへ避難**
-ただし移動手段が確保でき、途中の道路や橋が安全に通行できる場合に限る
2. **中小川集会所・カサ・デ・ファミリアへ避難**
-途中の道路や橋が安全に通行できない場合、長い移動が困難な場合も真っ先にこちらへ避難
3. **それ以外の比較的安全と思われる建物***へ避難
-1.2. の避難方法が困難な場合
※地図にあるピンク色に表示された建物。
4. **崖や川からできるだけ離れたご近所の建物の 2 階以上へ避難**

注意：特に**土砂災害では、崖や沢の近くや家屋の 1 階など低い所がもっとも危険**ですので、1～3 が難しくても崖や沢から少しでも離れた場所の 2 階以上に避難しましょう。

*この計画は平成 24 年 10 ～ 12 月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、中小川町内会として検討したものです。

